

2008年5月31日

プロジェクト報告書

【締切：プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2008年4月30日】

団体名 立川まちおん

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局編集があるので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

まちおんライブ プロジェクト

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

JR立川駅周辺の路上でのライブ活動が盛んに行われ、苦情もでています。文化や芸術活動を排除したり、規制管理したりすることが適切であるのか、議論が必要なところです。市民・アーティスト・行政で協力して、文化性の高い潤いのあるまちづくりができるのか、活動を通して実現していきたいと考えます。

2004年に市民800人を対象にした調査では、8割の人が「ストリートライブはまちの雰囲気としてよい」と答えました。マナーある演奏活動を呼びかけ、活動の場を提供し、文化活動への理解を広げていきたいと思います。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

まちおんフェスティバル(立川市民会館)の開催

路上で演奏・演技をしたことのあるグループまたは個人を対象とし、出演者を募集し、選考会を経て出演者を決定しました。

2008年3月15日(土) 13:00~17:00(立川市民会館 大ホール)

12組の出演者

当日の来場者 500人

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

①出演者に対しては、まちおんフェスティバル開催の目的・趣旨を伝え、協力を求めました。

②広報として、HP・チラシ・ポストカードはもちろんのこと、新聞取材も受け、FM立川への出演、アレアレアステージへの出演など、集客に努め、前年度よりも25%来場者が増えました。

③運営スタッフは前年度のメンバーのほか、新しいメンバーが加わり、運営に関わる人を増やすことができました。

④当日スタッフは若者就労支援のNPO法人に依頼、また、ボランティアの市民も加わり、ともに活動することができました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

前年度の課題としてあった音響機材・オペレーターの問題を、助成を受けることによって安心して、専門業者に頼むことができました。ありがとうございました。音響として前年度よりも高いものができたと思います。

出演者は、メジャーデビューを目指しているグループもあり、まちおんフェスティバル出身のアーティストとして出てくることを期待しています。運営スタッフは、新旧のチームワーク良く、大ホールでのステージの経験を積むことができ、文化活動への理解を広げるため、小規模やまちなかでのライブ活動に生かせていく手ごたえを感じています。市民活動に対するSINJO PROJECT 助成事業に感謝いたします。ありがとうございました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり • 特になし